

わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより
令和8年4月2日発行



写真:ソメイヨシノ(倉吉市東巖城町)

4月の体験活動イベント

子どもたちの体験活動を応援します!

4日(土)	第22回うわなだ桜まつり	(上灘コミュニティセンター)
5日(日)	第40回倉吉打吹流しびな	(倉吉市内の玉川)
11日(土)	げきじょうであそぼう	(エースパック未来中心)
19日(日)	旧国鉄倉吉線廃線跡ウォーキングオープンデー	(関金都市交流センター)

ちゅうぶくんが行く!

中部のヒト・モノ・コトを訪ねて



赤碕地区公民館(琴浦町)



赤碕の港のすぐそば、赤碕地区公民館に行ってきました。

この日は公民館祭で、館内は来場者の方で賑やかでした。作品展示では、こども園と小学生の子どもたちの作品、地域の大人の皆さんの作品がたくさん展示されていました。

ことうらこども園の作品には、赤碕の秋祭りの掛け声「えっちょう、えっちょう、ほーらんえっちょう」が書かれており、地域の伝統的なお祭りが、子どもたちの楽しい思い出になっていることが素晴らしいと感じました。また、地域の方のたくさんの作品からは、公民館の教室やサークルなどで充実した時間を過ごされている様子が伺えました。

公民館祭を通じて、公民館が地域の大切な場所となっていることを、改めて感じることができました!

作品展示の場所には飲食できるスペースがあり、子どもたちとその保護者、高齢者の方と、幅広い世代の皆さんが、ゆったりと過ごされていました。

また、体験活動もあり、展示物を見るだけでなく、交流もできる公民館祭となっているのが、素晴らしいと感じました!



公民館の教室やサークルの素晴らしい作品が展示されていました!



和室では、器の絵付け体験が行われていました!



飲食物の販売もありました!



レクリエーションで
楽しく仲間づくり!

レクリエーションとは、人々の心を元気にする活動です。レクリエーションの楽しさは、人の心を元気にします。心が元気になると、人や社会に関わる前向きな姿勢が引き出され、ポジティブな変化がもたらされます。

その結果、一人ひとりの活力が高まり、地域社会も元気になる。そしてまた、新たなレクリエーションの機会がつけられていく。そうしたサイクルを推進して、すべての人々のQOLの向上と、誰一人取り残さないコミュニティづくりという課題にも貢献します。

「出典：公益財団法人日本レクリエーション協会ホームページ」

親と子の小学校入学前交流講座 3月14日(土) 小鴨コミュニティセンター

小鴨コミュニティセンターでは年3回、小鴨小学校入学予定の年長園児を対象に「親と子の小学校入学前交流講座」をされています。

3回目の講座は、新一年生となる年長園児さんとその保護者の皆さん、小学4年生の児童とその保護者を中心とした地域活動グループのおがもPMCの皆さん、合計30人で交流を目的としたレクリエーションをされました。

はじめの出席確認で、参加者の皆さんの名前を呼ばれました。年長園児が「はい」と返事をする、4年生の子どもたちから拍手があり、温かい雰囲気ですスタートしました。

最初のレクリエーションはシールを使った活動でした。おでこにシールを貼ってもらい、声を出さずに同じシール同士の仲間に分かれました。4年生がうまくりリードして、年長園児と手をつないだり、手招きをしたりして、グループに分かれることができました。続いてシール交換をして、楽しみながら自己紹介をしました。

最後に、保護者と子どもとの交流ができるように、保護者チームと子どもチームに分かれて「社長さんゲーム」をしました。お金に見立てた札を1枚ずつ持って、相手チームの人とジャンケンをして、勝てば札がもらえるゲームで、最後までとても楽しく活動できました。

今回初めて参加の親子がおられ、この講座が新しい一歩を踏み出す場になっていると感じました。緊張しながらも参加した子どもや、勇気を出して来られた保護者のことを思うと、このような交流の機会はとても大切なものだ、改めて感じました。



楽しいレクリエーションで大人も子どもも笑顔がたくさんでした。子ども同士だけでなく、保護者同士、地域の大人同士のつながりも育まれる場となっていることは素晴らしいですね!



【トピックス】「中部地区から最優秀賞含め4団体が受賞！」

県内の優れた地域づくり活動を表彰する「令和7年度ミラ・クル・とっとり運動・SDGs活動表彰」で、最優秀賞に「椿の森」を後世に伝える会、企業協賛賞に「コトウラ3区」と、琴浦町で活動する大人たちが2団体受賞されました。

大学生の部・優秀賞は鳥取看護大学・鳥取短期大学の地域活動サークルによる「くら×スポ」、小中学生の部・優秀賞は小鴨地区の中学生地域活動グループ「とらウサ8」と、倉吉で活動する若者たちが2団体受賞されました。

今回の受賞は、中部地区における地域づくり活動の広がりとして、子どもから大人までが主体的に関わる社会教育の力を示すものです。

「椿の森」の美しさは、赤碕地区公民館祭の展示でも目をひきました。最優秀賞の「椿の森」の皆様をはじめ、受賞団体関係者の皆様、おめでとうございます!



ちゅうぶくん

~ちゅうぶくん公民館へ行く!~

お父さん、おじいちゃんとおばあちゃんって、今日はどこに行ってるの?



公民館っていう場所だよ。一緒に行ってみようか。



ここでは大人も子どもも、みんなで学べるんだ。



むかし遊び教室でコマ回しができるよ!

料理教室やっていますよ!



公民館って、楽しそう!大人だけじゃなくて子どもも行っていい所なんだね!おじいちゃんとおばあちゃん、先生みたいでかっこいい。ぼくも何かの先生になりたいな!



お兄ちゃんは昼寝教室の先生になれるかも!